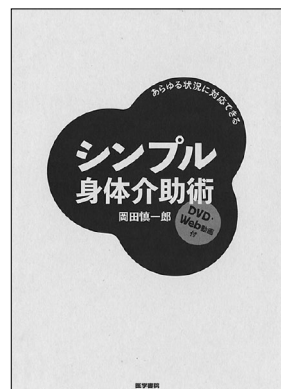


『あらゆる状況に対応できる シンプル身体介助術 [DVD・Web 動画付]』 ベッドサイドでの身体介助を 動画付きのハイブリッドな 教材で学ぶ

著：岡田慎一郎／定価：本体 2,600 円＋税
発行：医学書院／TEL：03-3817-5657



本学では、ベッド上での体位変換技術、ベッドからの立ち上がり、立位からいすへの移乗技術を、すべて「紙屋法」「キネステティクス法」「古武術介護法」の3つの方法について、経験できるようにしています。患者と看護師自身の体型や身体状況に合わせてアセスメントし、体位変換方法を選択できるようにするためです。

体位変換法のなかでも、「自然な身体の動き」に合わせ、多くの動作を組み合わせて行う方法では、「自然な身体の動き」「重心の移動の軌跡」をイメージしづらい学生には難易度が高いようです。

そういった事情もあり、初めて身体介助に接する学生は、古武術法が「楽に実施できる」と実感することが多いようですが、この「古武術介護法」を編み出した岡田慎一郎先生の最新著作が本書です。

本書は、大きくは「第Ⅰ部 基礎編」と「第Ⅱ部 実践編」にわかれており、基礎編では「身体介助を行うために必要な身体とは何か？また、その身体はどうやってつくるのか？」について学びます。身体を使うことに慣れていない学生にはここからしっかり読んでもらおうと良いでしょう。実践編では、タイトルに「シンプル」という言葉が使われている所以になったであろう「相手との関係の3原則」を使い、実際の介助技術を3つの原則でシンプルに腑分けしながら解説がなされます。

また、本書の白眉な点の1つが動画です。実践編はQ & A方式になっており38の事例が用意され、クエスチョンに答える形で、実際の技術の1例がアンサーとして示されています。無音で簡潔に編集がなされているので、飽きずに繰り返し動画を見ることができ、わからなくなったところでいったん止め、本の解説を見直し、また始めからという継続的な学習が可能です。付属のDVDだけでなくwebからも動画が見られますので、ベッドサイドでスマートフォンやタブレットを用い動画を視聴できる簡便さもあります。

本学では、演習時の予習方法としてe-learningで教員のデモンストレーション動画と写真付きの解説を視聴し、演習中はベッドサイドのTVモニターとスクリーンにデモンストレーション動画を繰り返し見ながら実施しています。動画の利用は技術を学ぶ際には効果的ではありますが、動画の準備が困難、また演習を行う環境が整わないという先生方にとって、本書は格好のテキストとなるのではないのでしょうか。

実際の看護現場をまだ経験していない学生に、限られた時間で身体介助技術の全てを教えるのは困難かと思います。瞬時に状況に応じた対応ができる看護師を育成するうえで、画像や動画を含めたハイブリッドな教材を活用した授業は、効率的かつ効果的であると考えています。